

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	本巣市立一色小学校		
実 施 期 間	平成26年4月～12月7日		
実 施 概 要	①日曜参観 ②市文化祭参加（全校が図工作品を出展） ③車椅子の方の話を聞く会・点字について学ぶ会等 （6年生総合的な学習の時間「福祉教育」） ④PTA資源回収（年3回）夏休み親子奉仕作業 ⑤ふるさと学習 ホタル幼虫飼育と水環境について（4年） 地元の 自然・文化・産業について学ぶ（3年）室町文化を学ぶ（6年）		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	のべ400 人	計 500 人
	地域関係者	のべ100 人	
実 施 状 況	①日曜参観 校区自治会と中学生と連携して、ふれあい交流会を実施。地区を大人と一緒に回って、地区の文化財や施設について学ぶ。その後、地域の方とレクリエーションをした。 ②市文化祭 全校児童が図工・書道作品を一人一作品出展した。 ③福祉教育 6年総合的な学習の時間に、病気で車いす生活をしながら起業している方や、先天性の難聴の赤ちゃんのお母さんを招いて、手話などでコミュニケーションしていることなど地元でハンディをもちながら生活している人の生き方について学んでいる。 ④資源回収は年3回PTA活動の一環として行っている。また、夏休みには親子奉仕作業を行っている。 ⑤総合的な学習・社会科学習として「ふるさと学習」を行っている。3年は地元の産業や自然、文化について講師を招いて説明を受けたり、現場へ行って学んだりした。4年はホタルの幼虫に飼育をはじめ、水質調査や水辺の生き物調査を地元の講師や農林事務所の協力で行っている。5年は、地元の農家の方によって稲作を学んでいる。6年は室町文化として茶道、花、水墨画を体験したり、市の古墳展示館において説明を受けたり弥生時代の暮らしの体験をしたりしている。		
成果及び課題	○地元の誇るべき文化や産業、豊かな自然について知ることができた。またそれらの自然や文化を守っていこうとする気持ちをもつことができた。ハンディをもつ方の前向きな生き方にふれることで自分の生き方を見つめなおすことができた。体験が伴う学習ができた。 ○保護者や地域の方も学校でふるさと学習をしていることには大変肯定的で、講師として参加される方も協力的で喜びをもたれている。 ■校外学習を行う場合の安全確保や外部講師との連絡調整が難しいことがある。（しかし、社会教育課が学力向上支援ボランティアをコーディネートしていただけるので大変ありがたい。）		